

**富山 2月19日
『講演会あとに見えたもの。』**



主催:Total salon VITA.
セラピスト第10期生
恒田由華



サウンドヒーリング講演会の2日前より富山は大雪に見舞われました。前日の夜、無事飛行機が飛ぶだろうか、大きな不安に苛まれ喜田先生に不安いっぱいのメールを送ったのを覚えています。飛行機の欠航が相次ぐ中、幸いにも先生たちの飛行機に影響はありませんでした。到着された頃から太陽が差し込みはじめ、午後はすっかり晴天となり、まるで富山での講演会を応援してくれているかのようでした。講演会当日、この日は私にとって多くの学びのある感謝の日となりました。この経験は新たなミッション、パワーも与えてくれました。

サウンドヒーリングのもたらす効果は素晴らしいです。数値やグラフで見える効果はもちろんですが、それ以上の効果をこの講演会を終え、改めて手にしました。手にしたその喜び、感謝、この愛をこれからたくさんの人に伝えたいこうと思っております。私の脳の癖でしょうか…人に頼るのは駄目な事といった思いが、いろんな事を抱え込み、辛くなる…そんな自分に気づきながらも変われない。この講演会を開催することは、そんな自分を変える挑戦だったように思います。

この日私は『team・絆・ご縁・愛・ぬくもり・感謝・思いetc.』たくさんのキーワードを手にし、私の固定観念がガラッと変わる瞬間を感じました。エステのお仕事をしながら本来の美を追求する中で“コア”へのフォーカスが大切だと感じます。肉体的なコアもですが、精神的なコアな部分=自分軸。ここを癒し整えることが本来の美へ繋がる重要な部分です。サウンドヒーリングのヒーリングタッチはすごく人を癒し、勇気付けます。サウンドヒーリングはコアに優しく触れ、癒す、素晴らしい施術であると改めて確信しました。

そして最後に。喜田先生から送ってきた返信メール『絶対に大丈夫』この言葉にはたくさんの愛と思いが詰まっていました。現代は不安でいっぱいの世の中です。不安な『氣』を宇宙にとばすのではなく、愛のある『氣』が世の中をも変えていくのだと思います。今回お力を貸していただきました喜田先生、niñaさんそして東京、名古屋、富山のセラピストの仲間の皆様には本当に感謝の思いでいっぱいです。

これからもたくさんの感謝を胸に、多くの人に優しく触れてていきたいと思います。～感謝～



**五島 2月28日
第90回五島中央病院オープンカンファレンス**



主催:第90回五島中央病院
セラピスト第16期生
木戸聰子



五島中央病院では地域の医療関係者を対象に新しい医療のあり方を学ぶ事を目的に毎月オープンカンファレンスを開催しています。

第90回開催にあたり会議に出席していた私は、サウンドヒーリングの事を一人でも多くの方に知って頂きたいと思い、喜田先生を推薦しました。興味を持った担当の先生からすんなりOKが出て、スマーズな流れの中、喜田先生をお迎えすることとなりました。“思いがあれば叶う”、五島での喜田先生の講演は、研修会で未来日記に書いた内容がそのまま実現したのです！

講演内容は「自発的治癒力を發揮する」～産婦人科から緩和ケアまで、心と体をほぐす音の力と素敵な演題を用意して頂きました。講演会には喜田先生、ニーニヤさんを始め、各地よりセラピスト仲間が応援に駆け付けて下さり、ただ感謝と喜びに溢れる時間となりました。演題に惹かれるかのように、病院の職員は忙しい合間にみて体感音響の体験に訪れました。ちょうどその日、病院全体がシステム移行で慌ただしく、職員のほとんどが疲れきっていました。そこに、屋久島の自然音や心地よい音の振動が皆の心と体に響きました。

講演会へは予想以上の方が参加され、喜田先生の講演をとても興味深く聞いていました。質疑応答を積極的に交される場面もあり、サウンドヒーリングの具体的な活用法を尋ねる方もいました。翌日から「どこで体験できるの?」「こんなものが五島にあったの?」「病院で使えたらしいのにね~」「あの曲いいね!」「わたしも資格とってみたいな。」「うちの病院に出張とかできないですか?」と大反響でした。今現在、産婦人科の分娩室では、屋久島の自然音や、スタートヒーリングの曲などが流れ、妊婦さんと新しい命に届いています。

先日95歳の祖母が安らかな眠りにつきました。祖母はサウンドヒーリングが大好きでした。ずっとクッショントリートメントを抱っこしてていいの?ってよく聞いていました。そして亡くなった今、光のような存在になったのかな?と感じます。祖母がいつも近くにいる気がします。

世界が平和になりますように

命あるもの全てが幸せありますように

私に命がある限り、精一杯生きたいと思いました。



**高松 3月25日
『ほほ笑みは風のように』
(文)FM高松コミュニティ放送 パーソナリティー 穴吹恵美**

主催:NPO法人香川ファミリー
コンサートを考える会
藤村利江子さん(後)、穴吹恵美さん(前)



2012年3月25日(日)サンポート高松に於いて、高松では初めてのサウンドヒーリング講演会が開催されました。参加者はおよそ100人、ほとんどの方が今日の催しで何が語られるか定かではない状態でした。自然音が心と体に与えてくれる好影響を中心に、解かり易く説得力のある喜田理事長のお話。皆さんに納得されたことは、後の屋久島自然音CDの売れ行きに顕著に表れていました。ニーニヤさんの発声ヒーリングワークショップでは、終わった時のポカポカ感に驚く声がしきりでした。満を持して行われた喜田理事長の故郷での初講演会は大成功でした。

その後、発売された『屋久島癒しの清流音CDブック』は、全国的に大好評でしたが、紀伊國屋書店によると、全国の紀伊國屋書店本支店の中で、高松店での本著の売れ行きはまさしくダントツ、1日に何冊も出て、売れない日はなかったとのことです。

そこで、日頃からサウンドヒーリングを注目している、私どもFM高松『ほほ笑みは風のように』では、紀伊國屋高松店内で、喜田理事長と担当販売員の米田香代さんに私がインタビューをするという番組を制作いたしました。

米田さんによると、ヒーリング関係の書籍はだいたい女性が購入することが多いけれども、本著は性別、世代を問わず購入されているとのことです。広い店内の2か所に売り場が作られ、それぞれに清流音が流れ、本が素敵にディスプレイされています。さらに、お店の外のディスプレイも目を引きます。高松店の意気込みが相当なものだと解かります。著者が当地出身だからとか、講演会があったからとかでは無いようです。いかにもふらりと入って来たようなサラリーマンが、音に惹かれ本を手に取り、そのまま買って行く姿が多く見られたのです。これまでにない現象でした。

米田さんは、それを見て「これは売れる」と確信されたということです。お陰さまで私の番組も、いい感じに出来上がり、皆さんに聴いていただく事が出来ました。

きっとこの後、高松にもサウンドヒーリングメソッドの共感者が増えて行くことでしょう。とりあえず、高松近辺では屋久島の清流音が流れているお宅が多くあるはずです。きっと、このあたりは、清らかな気がより多く満ちていることでしょう。



**名古屋 9月16日
『自発的幸福へのスイッチ』**

サウンドヒーリングサロンCoo～空～
セラピスト15期生 坪内美裕
セラピスト16期生 坪内祐太郎



名古屋講演会も今年で2回目となりました。今年は、気持ちを新たに、楽しもう!という思いで、お客様が喜んでいる姿や、久しぶりに会える全国のセラピストの顔を思い浮かべて、わくわくしながら講演会を迎えることができました。

今年の講演会では、サウンドヒーリング協会理事の一人である河野渡先生と会長の中村泰治先生がお越し下さり、私たちにとって大きな喜びでした。講演では、喜田圭一郎理事長から、自分自身を幸福へと導く方法として、プラスの言葉や自然音の力を借りることが近道であるというお話を頂きました。声や音というものはとても身近なものであり、すぐに始めができる方法です。お客様からも「これからプラスの言葉を使うようになるよ」とか「屋久島の自然音を取り入れてみるよ」など、笑顔で声をかけていただき、みなさんの自発的幸福へのスイッチがONになったことを実感し、とても嬉しかったです。レゾナンスでは、ニーニヤさんの歌声に涙を流されるお客様もおられ、とても感動的でした。

今年も全国から駆け付けて下さったセラピストさん、ありがとうございました。講演会を通して、セラピストのみんなと力を合わせることの大切さや、セラピストのみんなの存在の大きさを感じました。講演会を開催するのは主催者の私たちだけではなく、セラピストのみんなもいるということ。ひとりひとりが高まり、ひとりひとりが持っている力を發揮し、セラピストみんなで共有しながら準備していくことが、一つの目標に向かって作り上げるという大きな喜びとなり、また、サウンドヒーリングを知らない方にも知って頂く大きな手段となることを改めて学びました。講演会に限らず、喜田理事長のおっしゃるように「大きな一つの頭脳」として、そして、同じ目標に向かう仲間として、これからもみんなと一緒に自分自身の内面にさらに磨きをかけて、サウンドヒーリングセラピストとしての姿を現していきたいと思います。

